

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年7月24日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (7/24 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.0 m³/h	26.5	1.0 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約2.5 m³/h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.5 m³/h	32.7	5.59 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約2.0m³/h			B系： 0.02 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.3 m³/h	30.0	0.22 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約2.0 m³/h			B系： 0.04 vol%

## <2. 使用済燃料プールの状況> (7/24 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	30.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	29.0 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	26.9 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	25.2 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘドランジンの注入を適宜実施。

## <3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	7/22 6:22～ 移送実施中
3号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	7/24 6:25～ 移送実施中

## <4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (7/24 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## <5. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- 2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(フランジ型タンク)の解体作業を開始。

### 【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタ及びモニタリングポストのダスト濃度等に、有意な変動は確認されていない。
- 7/17 7:06～2015/7/21 9:10 1号機の原子炉建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な

変動なし。7/28 頃から建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を計画。

#### 【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】・2015/2/24 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業開始。  
6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 4,500m<sup>3</sup>の除去完了。  
7/10 海水配管トレンチ内の充填完了。
- 【3号機】・2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。  
6/12～ 当該作業に伴う海水配管トレンチ内の滞留水については、塩分濃度等を考慮しつつタービン建屋へ排水しているが、タービン建屋滞留水の塩分濃度が上昇した場合、汚染水処理に影響を及ぼすことが考えられるため、一時貯留先として1号機復水貯蔵タンク(以下、「1号機CST」という。)へ滞留水の受け入れを行う。その事前準備として、受け入れ可能な容量を確保する目的で、1号機CSTに貯留されている汚染水を1号機廃棄物処理建屋へ移送を行う。
- 【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

#### 【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社及び第三者機関による分析結果[採取日 7/9]については、同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。7/24 10:05 より海洋への排水を開始。同日 10:10 に漏えい等の異常がないことを確認。
- ・地下水バイパス揚水井 No.10 については、6月29日に採水した水の分析結果において、トリチウム濃度が運用目標値の1,500 Bq/L であることを確認したことから、当該揚水井の汲み上げを6月30日に停止。今後、地下水バイパス一時貯留タンク内の評価を行う。7/17 に採水した水の分析結果において、トリチウム濃度が1,900 Bq/L であることを確認しているが、第三者機関による分析においても1,900 Bq/L であり、同等であることを確認。

#### 【1～3号機放水路の状況】

- ※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。  
<最新のサンプリング実績>
- ・7/22 採取の1号機放水路立坑水分析結果について、上流側は全ベータ放射能及びセシウム濃度が前回数と比較して上昇しているが、過去の変動範囲内であり、降雨の影響と推定。なお、1号機放水路下流側及び、2号機放水路立坑水の分析結果については、前回数と比較して有意な変動は確認されていない。

#### 【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

- <K排水路排水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。引き続き、監視を継続していく。

#### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- <地下水観測孔サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- <地下貯水槽サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上